

[要点]

- (1)大正時代になると、都市部では電話・ガス・水道が普及し、ラジオ放送も始まった。
- (2)文学では、武者小路実篤や志賀直哉らの白樺派が活躍し、芥川龍之介は「羅生門」などの作品を発表した。また、労働者や農民の生活を描いたプロレタリア文学も生まれた。

[A問題：要点確認]

- (1)大正時代になると、都市部では電話・ガス・水道が普及し、()放送も始まった。
- (2)文学では、武者小路実篤や志賀直哉らの()派が活躍し、()は「羅生門」などの作品を発表した。また、労働者や農民の生活を描いたプロレタリア文学も生まれた。
- (3)文学では、()や()らの白樺派が活躍し、芥川龍之介は「羅生門」などの作品を発表した。また、労働者や農民の生活を描いた()文学も生まれた。

[B問題]

- (1)雑誌「白樺」によって新しい文化運動を始めたのは誰か。
- (2)「伊豆の踊り子」の作者で、のちにノーベル文学賞を受賞した作家は誰か。
- (3)風刺や苦悩を作品の中に表現し、「羅生門」や「鼻」を書いたのは誰か。
- (4)プロレタリアート文学をおこしたのは誰か。
- (5)大正時代に報道機関の発達があった。何か。

[解答] (1)志賀直哉 (2)川端康成 (3)芥川龍之介 (4)小林多喜二 (5)ラジオ放送の開始

[C問題]

- (1)白樺派の作家を3人あげよ。
- (2)「暗夜行路」の作者は誰か。
- (3)「或る女」の作者は誰か。
- (4)「友情」の作者は誰か。
- (5)「父帰る」の作者は誰か。
- (6)小林多喜二の代表的小説をあげよ。

[解答] (1)志賀直哉 ありしまたけお 武者小路実篤 (2)志賀直哉 (3)ありしまたけお (4)武者小路実篤
(5)まくちかん (6)かほこうせん